



AJU 愛実

編集：特定非営利活動法人愛実の会

- ・愛実の会事務局
- ・居宅介護事業所あみ
- ・生活介護事業所
(大地の家／愛実友だちの家／紙風船)

第9号 会報

定価：一部50円



理事長 島しづ子より	P1
事務局より	P2
愛実友だちの家のページ	P3～4
大地の家のページ	P5～6
紙風船のページ	P7～10
「自分の言葉」／南 寿樹	P11
2008年度会計報告	P12
寄付者名簿	P13
定例会報告	P14

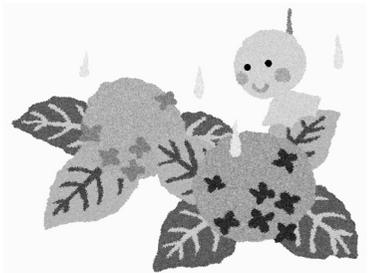
大地の家「廃油石鹸作成中」



愛実友だちの家
「だるまさんがこ～ろんだ」



紙風船「東京旅行」



無駄な時間が創造性を生み出す（！？）

理事長 島しづ子より

憂鬱な時代です。今まで大事にしてきたものがあつという間に破壊され、個人のいのちや良心がないがしろにされていると思います。頑固に守り続けなくてはならないもの、それを見極めながら歩みたいと願うこの頃です。

「愛実の会」のアシスタント全体研修会を4月29日に白鳥庭園のお茶室「清羽亭」で行ないました。参加アシスタントは28名（参加出来なかった方々も10名位います）。理事の一人南寿樹先生が講演をして下さいました。南先生は養護学校の現役教師です。会のメンバーも在学中はお世話になりました。当会の創立時からご協力下さり、紙風船の活動は南先生と教え子たちと協力者によって先駆的な作業所として認められてきました。学ぶ場所や働く場所を持たなかったメンバーたちが、如何にして学び、働き、通う場所を得て行ったか、その歴史を語って頂きました。また今後の課題（いかにメンバーの思いを聴き取り、実現するか）も示唆されました。1987年に開始した「愛実の会」の草創期には、まだ生まれていなかったアシスタントも働く時代ですので、歴史を振り返りながら、私たちが働く意味を振り返りました。

私は、アシスタントには、時にはゆっくり休み、豊かな時間を味わって、喜んで働いてほしいと願っています。それで、研修会の場所は豪華なお茶室を選びました。（市営の安価に借りられるお茶室です。）日本庭園の中も緑が一杯で京都のお庭のようです。講演や話し合いの前後は、本式のお点前を味わいました。甘いお菓子とお茶を楽しんでいる姿に感謝しながら過ごしました。ご奉仕くださった先生方、お点前ありがとうございました。

「わかちあい」と言う時間では、よく自助グループが行なっている、互いの話を聞きっぱなし、話しっぱなしという時間を持ちました。議論は大事ですが、人間の心は感情が第一に反応します。いくら正論でも、聞けないということが多いものです。本音を言わないまま、釈然としない思いでギクシャクしてしまいます。それで、何でも言って良い、ただ、他者の話には意見は言わない、聞くだけ。というルールで話します。なかなか本音は言いにくいものですが、これをツールとして活用するとこれをしない時よりも、人間関係も会議もスムーズに行きます。心の表面にある思いを語ることで、奥にある一致したい、仲良く働きたい、理解したい、という肯定的な思いが出てくるような気がします。

それ以上に、互いの「思い」を聞くことで、深いところで理解しあえるようです。無駄な時間と思える人もいるかもしれませんが、私が経験してきた中では、共同生活を生きる知恵として優れたツールだと確信しています。

ところで、こういうささやかな贅沢や時間を無駄だと思う人もいるかもしれませんが。昨年度グアム旅行から帰った方々が疲れを見せながらも、晴れ晴れとした自信に満ちた顔をしていたことが印象的でした。紙風船の東京旅行も心配しましたが、みなでやり遂げました。遠出には苦労が絶えないものですが、日常を離れること、ちょっと贅沢すること、一緒に遊ぶこと、そういうことが、厳しい日々を送るものには人一倍必要だと思います。

これからも研修会は出来る範囲の贅沢をアシスタントに提供したいと願っています。豊かな時間を過ごして、新鮮な気持ちで働いてもらいたいです。

みなさまも時には日常を離れて、よく励んでいるご自分にご褒美を上げてみませんか。元気が出ますように。

全体研修会報告

4月29日にNPO愛実の会のアシスタント(職員)全体研修会を実施いたしました。

当日は白鳥庭園という事業所から近い場所に部屋を借りました。内容は任意団体時代の愛実の会・紙風船の歴史、その中で喜びや悩み、といったことを講師より聞き、午後はグループごとに分かれて、各自思っていること、今後のビジョン等語り合いました。これまでの歩み・今・今後のことを見つめる機会となりました。その合間にはお茶の先生による抹茶の時間も設けられ、バラエティーに富んだ研修会となりました。

日常の業務を確実に遂行していくことが最も基本的なことなのですが、このように日常を離れてアシスタントが過ごすことも意味があるように思います。またこのような計画があることによって日常の業務をより豊かなものになっていく面があるようにも思います。

この研修会で確認できた一つのことがお互いに知り合うことの大切さでしょうか。お互いに知り合うとは、アシスタント立場からすれば、メンバーや、メンバーのご家族との関わりが大きな比重を占めることが現実ですが、それとともにアシスタント同士の関わりもとても大切なことと考えております。この研修会によってその関わりがより良いものになったのならとても素晴らしいことと認識しております。

中森 由哉

看護師を求めています

当法人では胃ろうからの水分・栄養分注入、吸引、といった医療的ケアが必要な方が通所されております。そこで、パートの看護職員を募集中です。

資格 : 看護師または准看護師

勤務曜日 : 月・水・金・土(土は月1回)のうち2~4日

勤務時間 : 10:00~16:00を基本に応相談

勤務地 : 愛実友だちの家、紙風船

勤務内容 : 医療的ケア、介護全般

連絡先 : 052-700-1120 (担当 : 中森)
まず見学からという方も歓迎いたします。

「小窓から」 4

大野 義徳

「〇〇さん、□□しましょうか？」

「〇〇さん、何が飲みたいですか？」

これらの「声かけ」は、メンバーへの意思確認、あるいは自己表現のために、とても大切なものだ。障害ゆえに自分から意思表示がなかなかできず、またその内容を受け手が理解しにくいこともあり、アシスタントはメンバーの語りかけに全神経を集中する。

「されるがまま」ではなく自分の意思で選択する、大切なものではあるが、これを引き出すのはなかなか難しい。

「どうせだめって言われるのだろう」

「わがままって思われるのではないか」

「自分の思いをいちいち表すのは面倒くさい」

そんなメンバーの心境が見え隠れする。その壁をお互い乗り越え、「この人は伝えるに足る」という信頼感をメンバーに持ってもらうには、やはり時間が必要だ。

そこを乗り越えれば、素晴らしい世界が広がっている・・・

とは一筋縄に行かないところがこの仕事の、また人間の面白いところだ。

愛実友だちの家のページ

(P3~4)

新年度が始まり、愛実友だちの家にも新しいメンバーが仲間入り。
それに伴って大地の家とメンバーの入れ替えがあり、今まで以上にまったり
過ごす愛実友だちの家になりました。
今回の会報では、新メンバーの紹介と、今年度の取り組みのうちのいくつかを
ご紹介したいと思います。

新メンバー紹介



K.T.さん

今年3月に港養護学校の高等部を卒業したニューフェイス。普段はクールなTさんですが、他のメンバーがドジをしたり、そばにいるアシスタントが困っているとアハハと笑ってくれる姿は癒し効果満点です。
高等部時代、『幸福の王子』の王子様役を務めたTさん。愛実でもすっかり『王子キャラ』が定着。女性アシスタントのハートをわしずかみにしています。
音楽が好きで、特にキーボードが得意です。



H.Y.さん

Tさんの同級生で同じく今年3月に港養護学校を卒業したニューフェイスです。とってもキュートなお姫様タイプの人Yさんは、『2代目眠り姫』と噂されていますが、そんな噂を吹き飛ばすように活動中は目をパッチリ開けて参加してくれています。
可愛らしい見た目に反して、意外に男性アシスタントには厳しいとの評判は、すっかり愛実に馴染んだ証拠?!

☆よろしくお祈いします☆

活動紹介

☆ 今年も園芸はじめました☆

去年はワイルドフラワーは雑草に取って代われ、ミニトマトは虫と鳥の餌になってしまった園芸活動。今年は是非リベンジを!!と気合を入れて、駐車場に花壇を作り、ポーチウカやラベンダー、バジルなどを植えました。花いっぱいの愛実友だちの家になあれ*****



☆フェルトボール作ります☆

羊毛フェルト



ふわってふわって・・・

今年度の福祉フェスタに出品する作品の材料として、フェルトボールを作ることにしました。フェルトボールとは、羊毛フェルトを中性洗剤の中で専用シェイカーを使ってまあるくしたふわふわの玉のことです。この玉がどんな作品になるかはまだヒミツです☆

フルフルシェイカー



ふわってふわって・・・



ふわってふわって・・・



フェルトボール



大地の家のページ

(P5~6)

2009年度歓迎会

今年度も大地の家に新メンバーをお迎えすることができました。愛知県立港養護学校をこの3月に卒業されたばかりの、女性メンバーです。

今年度は、愛実友だちの家と共同で「新メンバー歓迎会」を実施しました。

当日は新メンバー3名と3人のお母さん方、アシスタント、メンバーが集まり、マジシャンの新學さんをお迎えし、マジックショーを見せていただきました。



ステッキがヌヌヌ〜と伸びたかと思うと...パッと花が咲いたり、普通の千円札を畳んで広げてみると...大きな大きな一万円札に化けてみたり、予想通りのものや意外性にビックリするものなど、様々なマジックを見ることができてとても楽しかったです。

メンバーも出てくるものを見ては、驚いたり、怖がったり、喜んだり、興味深げに見てみたりと一人ひとりが違う反応を見せてくれました。

また、マジックショーの後には3人の新メンバーそれぞれのプロフィールDVDを大きなスクリーンで鑑賞しました。事前に何枚かの写真をお預かりし、それぞれの好きな歌と共にスライド上映をしました。

3人が3人とも小さな頃の写真から最近のものまで時系列に沿っての上映でしたが、その時々状況の紹介などをお母さん方にしていただき、みんなのこれまでの軌跡を垣間見ることができました。

まだまだ高校を卒業したばかりで不安な日もあるかと思いますが、少しでもその不安を取り除くことができ、これから学校で過ごした時間よりも多くの時間を共に楽しく過ごしていけたら嬉しいなと思いました。また、その時間が充実して実りの多いものであれば尚嬉しいことだと思いました★

端午の節句

季節を感じる取組みの中で、5月には「端午の節句」にまつわる活動を行いました。

こどもの日には「柏の葉は新芽が育つまで古い葉が落ちない」ことから、「家系が途絶えることがない=子孫繁栄のシンボル」という理由で柏餅を食べるそうです。

そんなことから今回は「柏餅もどき」作りに挑戦しました♪メンバーはなかなかお餅を食べることが苦手なので、飲み込みやすいように上新粉と豆腐を混ぜて生地を作りました。



水を切った豆腐をほぐし、上新粉と混ぜ合わせて作る簡単な作業でしたが、. . . 出来上がってみるとやけにもったりとしたお餅になってしまいました。豆腐の水気を飛ばしすぎてしまったのか、上新粉が多かったのか、蒸しすぎてしまったのか、原因は未だにわかりませんが、お菓子作りは奥が深いと痛感した瞬間でした。

メンバーには豆腐と上新粉を混ぜる工程を担当してもらいましたが、何を作るのかわかっているメンバーはワクワクした表情を見せてくれたり、何ができあがるのかよくわからないメンバーは素っ気ない顔をしていたり. . . と力の入り具合は人それぞれでした。

しかし、そこは甘いものが大好きなメンバーたち★もったりとした柏餅もどきも、パクパクと上手に平らげてくれました。

また、みんなで即席カブトも作って端午の節句をお祝いしました♪

今年度も大地の家を よろしく申し上げます

年度が変わってしばらく経ちますが、今年度も大地の家の応援よろしく申し上げます。

今年度も昨年度に引き続き、下記のテーマに沿って活動に取り組んでいきたいと思っております。



★「地域での生活」「季節感」を重点的に捉え、季節の行事や地域で行われる催しを中心に、外での活動を積極的に行う。

★毎日を明るく楽しく過ごせるよう、メンバーもアシスタントも協力し、明るい雰囲気作りを行う。

また普段の活動の中に、11月に催される「あったかあつた福祉フェスタ」に向けた作業活動も取り入れていきます。

昨年度と同様、「絞り染め」「廃油石鹸づくり」に取組み、今年度は「アクリルたわし」の製作にもチャレンジします。

予定通り、計画通りに活動が進んだり、順調に調子よく毎日が過ぎていくばかりではありませんが、一日一日の活動の中に楽しみや喜びを感じながら過ごせるように取り組んでいきたいと思っております。どうぞご協力ならびにご支援の程よろしくお願い致します。

あったかあつた福祉フェスタに向けて①

今年度も「あったかあつた福祉フェスタ」への出展が決まりました。今年度は11月中旬の日曜日に熱田区役所等複合施設にて行われます。現在、大地の家では先述の通り「廃油石鹸づくり」「絞り染め」「アクリルたわしづくり」にチャレンジしています。

今回は「廃油石鹸づくり」について紹介させていただきたいと思っております。毎日の給食調理で使った廃油をため続け、たまった油を元に石鹸を作りました。この石鹸は廃油できていて環境に良いだけでなく、食器の油汚れをしっかりと落としてくれます。ステンレスを磨けばピカピカになるほどです。

製作当日はメンバーと共に外で作りましたが、メンバーもたくさんの油に興味津々でした。まだまだこれからも工程は続きますが、11月までに良い石鹸が出来上がるのが楽しみです♪

紙風船のページ

(P7~10)



東京旅行に行ってきました！！

4月11日・12日にメンバー10名参加で、
東京まで一泊旅行に出掛けてきました☆

1日目



名古屋駅に胸を弾ませ集合したメンバーたち。
みんなの表情は期待いっぱいの笑顔でした☆
みんなで新幹線に乗り込みいざ東京へ！
車内でお弁当を食べたりおしゃべりしたり…。
1日目はお台場へ！品川駅で降り、山の手線などを何回
か乗り換えたりして、やっとの思いでお台場に到着！
それぞれのグループに分かれ、
フジテレビや水上バス、
観覧車に乗ったりと
盛りだくさんのスケジュールで
お台場を満喫しました☆



東京タワー観光を行いました！
展望台へ上って、ガラス張りの所をのぞいてみたり、
仕掛けがたくさんあるトリックアートギャラリーへ行
き不思議な空間を体験をしたり、ギネス館で世界の超
人をみたりと限られた時間でしたが、東京タワーを楽
しむことが出来ました。



2日目



あっという間の二日間でした。
今回この旅行では、一緒に行ったボランティアさん
はもちろん、東京に住んでいるメンバー達の同級生
や紙風船の古くからの親しいボランティアさんとの
再会、現地ボランティアさんとの出会いなど、素敵
な時間をたくさんの方と共有することが出来ました。

旅行を計画してから実行するまで、いろいろと大変な事もありましたが、お土産をたんまりと
車椅子に引っかけ満足そうな表情で帰宅していくメンバーたちの姿をみて、強行と思った東京
一泊旅行、みんなで行けてよかったなとしみじみ感じました。

朝の会の様子



2009年度に入り、朝の会の様子・活動の内容が少し変わりました。

朝のあいさつがおわると、まず第一にリラクスの音楽にのせてみんなで身体を伸ばしてストレッチ。大～きく深呼吸したり、肩をまわしたり…。そして、次は発声練習。「あ・い・う・え・お・あ・お」のかけ声に続き、みんなで声を出していきます。

そしてその後、毎月メンバーと決める月の歌を、大きな声でうたい一日が始まります。

最近では表現活動を取り入れ、いろんな表現の方法を感じたり体験したり、人形劇を演じる上での表現の仕方等をお互いに考えあえる活動も取り入れています。



7月の朝の歌は
「明日があるさ」に
決定！！

新メンバーの紹介

紙風船に新しい仲間が2人加わりました☆また紙風船に新しい風が吹き始めています！
これからの活躍が楽しみです！いろんな経験をし、それぞれが充実した活動を
送っていただける場になることを願っています。

私の趣味はバトミントン
をする事です。
紙風船は楽しいです！
よろしくお願いします☆



僕の趣味はサッカーで見る
のもやるのも好きです！
絵を描くのも好きです！
紙風船はとても面白い所な
ので楽しいです！
これから、よろしくお願いします！

【あとがき】

もうすぐ暑い季節がやってきます。皆様、いかがお過ごしでしょうか。
人形劇では新作の話し合いも進んでいますが、完成までには時間がかかりそうです。
新しいメンバーが増えて、いつも元気で活気づいています！
2009年度も応援の方よろしくお願いします。

メンバー 田中 良枝

<メンバーの思い>

「紙風船」

浅井友里恵

「自分の居場所はここだ」と感じメンバーの一員になって4年目に入りました。最初は、みんなの足を引っ張っているのではないかと演技が下手ではないかと色々思えば思うほど、プレッシャーも入ってへこむ事もありました。

しかし、お客様から拍手をもらった瞬間、頑張ろうと励まされ力をもらいました。まだまだ自分の納得のいく演技ができず、未熟なのでこれからもっと力をつけたいと思って頑張っています。



<協力者の思い>

「あそびましょ」

東京サポーター 遠藤久一郎

東京のサポーターとしてみんなと過ごした2日は、私にとっても一所懸命遊んだ2日間でした。誰でも、そしていくつになっても(私55才)遊ぶのは楽しいもんです。私にとっての東京タワーは10年ぶり、お台場は20数年前まだままだのっばらでした。道案内を仰せつかったのに、世田谷村の住人としては都心の道が何にもわかんなくて、事前に2回下見しました。それでもレインボブリッジの下に一般道があるのを知らなくて、わざわざ銀座経由の遠回りをしてしまってお迷惑掛けました。

それでも私にとっては、下見も含めてパレットタウンやフジテレビ、東京タワーのおみやげ探しに夢の島など、とっても楽しく遊べたひとときでした。

みんなもちからいっば楽しく遊べたかなあ。(こないだテレビで言ってたけど、来年あのパレットタウンや日本一の観覧車がなくなっちゃうんだって。ある内に来てよかったね)

今度来る時は私の住まいに近い渋谷、表参道、明治神宮、竹下通りを見物して私のテリトリー(私ヤクルトファン)の神宮球場でヤクルト対中日戦で盛り上がりませんか。東京サポーターが手ぐすね引いてお待ちしております。

【公演だより】

第114回 2009年3月21日(土) ワイズメンズクラブ国際協会西日本区中部部会主催
チャリティ公演 「モコちゃん」 東別院会館ホールにて

以前紙風船の自主公演をした懐かしい東別院会館での公演。

今回の公演は、愛実の会の給食づくりでお世話になっている、メネット会さんとのつながりがきっかけとなり公演させて頂けることとなりました。

当日は紙風船のほかにも、マジシャンのムッシュピエールさんが出演しており会場は大賑わいでした。ワイズメンズクラブの方々にも、会場設営から本当にお世話になりました。ありがとうございました。

第115回 2009年6月13日(土) NPO法人「路の臺」主催 岡崎公演 「モコちゃん」
西部地域交流センター やはぎかんにて

とてもきれいで広々とした会場でした。久しぶりの公演であることや、新しいメンバーが加わっての公演ということもあり、メンバーもアシスタントも少々緊張している様子でした。

会場のお客さんは、人形劇を見てとても喜んで下さっていた様子で安心しました。障害者施設を作る為に献身的に活動を行っている「路の臺」の皆さんとも、今回こうして出会えたことを嬉しく思います。

またぜひ交流の機会がもてたら良いですね！



【今後の公演予定】

2009年	8月22日(土)	静岡県湖西市	「モコちゃん」
	10月 11日(日)	パペットフェスタ出演予定	「モコちゃん」



新作づくり

新作づくりに引き続き取り組んでいます。

現在は・・・なかなかイメージがわからないため、頭で考えているだけでは出てくるアイデアも出ないだろうということで、みんなでいろんな絵本をよんだり、映画をみたり、まずは自分たちの材料集めを始めました。最近では少しずつですが、イメージが膨らんできているような・・・。

まだまだ、先は長～い新作づくりになります。まずは10月脚本完成を目指し頑張っていきたいと思っております！

【公演依頼募集中】

地域のイベント等、何か機会がありましたらぜひ声をかけてください！



自分の言葉

南 寿 樹

真っ白な壁に囲まれた清潔感あふれる会議室は、重たい緊張感で息苦しいほどだった。ある特定子会社（障害者雇用対策のために企業が独自に作った会社）の就職試験ともいえる実習のオリエンテーションが始まった。私は和史（大府養高3）の付き添いで来ていた。

「この会社で働く上で、どんなことを大切にすればいいと思いますか？」

人事担当の西岡さんは穏やかな声で5人の実習生を見渡しながらかねる。

すかさず、和史が手を挙げる。（いいぞ）私はつい笑ってしまった。和史はいつものお調子者ぶりで、積極性を発揮している。「よろしいですか」と断った上で和史はしっかりと言った。

「まずはあいさつと返事。そして言葉遣いに気をつける。またきれいに片づけることです」これは、彼がいつも教師から言われ続けていることだ。すぐに頭に浮かんできたのだろう。

さて、他の実習生はというと…「作業に集中してがんばります」（高等養護学校の生徒）「はっきりとわかりやすく話すことです」（県外から来た生徒）「お客さんに喜んでもらえる商品を作ることです」（名古屋市立の養護学校の生徒）と続く。ここで西岡さんがつっこんでかねる。

「お客さんに喜んでもらえる商品づくりのために気をつけることは？」その生徒は、「えーと汚いところが・・・良い製品に・・・」後は言葉に詰まる。西岡さんは辛抱強く待つ。約1分間の沈黙。そして「考えがまとまったら、話そうか」と優しく声をかける。

次に、名古屋職業開拓校の生徒の知也君（他の生徒より2歳上）がゆっくりと言う。「チームワークを大切にしたいです」それを受けて西岡さんは、今度は全員に聞く。「チームワークを大切にすることって具体的にどういうことかな？教えて」・・・またも沈黙の時間・・・

和史は頭をかきながら「えーと」を繰り返すが後の言葉が出てこない。他の生徒も同じだ。

——（この実習生たちに足りないのは、言語能力ではなく自己肯定感ではないか？）私は直感的に感じた。私にも経験がある。人前で話すとき「もしかして誰にも通じない、的はずれなことを言うかもしれない」と思うと不安で身動きがとれなくなるのだ。実習生たちにはそつがない発言もあるが、それは権威的な他者の言葉が形式的に刷り込まれているだけであり、自分の言葉になっていないのではないか。だから少しのつっこみ（揺さぶり）で詰まるのだろう——

しばらくの沈黙の後、知也君が手を挙げ、発言する。「うまくいえませんが、例えば重い荷物を持っている人がいたら手伝いましょうかと声をかけたりするとか・・・です」

私は知也君の職業開拓校での姿が目につかんだ。（昨年見学させてもらったが、そこはもうどん屋の2階にあり、自由な雰囲気の中でみんなで協力して生麺の製造と袋詰めをしていた）

「チームワーク」という言葉は仲間との活動の中で実感として湧き上がってきた言葉であろう。

（なんと素敵ないやりの言葉だろうか！）個別での徹底した職業訓練では出てこない。

約1時間のオリエンテーション。私は一つの真理（仮説）を頭の中でまとめていた。

「安心できる集団の中で、言葉にした自分の思いが仲間にとしっかりと受け止められたという実感の積み重ねが、人前で話すときの自信になり、自分の言葉を生むのではないだろうか！」

2008年度「特定非営利活動に係る事業会計」収支計算書

2008年4月1日から2009年3月31日まで

(単位 円)

特定非営利活動法人 愛実の会

科 目	予算額	決算額	備考
(資金収支の部)			
I 経常収入の部			
1 会費・入金収入	450,000	69,000	
1) 会費収入	450,000	69,000	
2 事業収入	53,004,000	94,830,925	
1) 自立支援費収入		69,298,725	
2) 負担収入支援費		815,413	
3) 補助金収入		23,036,451	
4) 食費収入		1,568,336	
5) 他利用料収入		112,000	
3 就労支援事業収入		600,854	紙風船活動による収入
1) 公演収入		391,711	
2) 物品販売収入		121,708	
4) 軽作業収入		87,435	
4 寄付金収入	350,000	6,337,630	
1) 寄付金収入	350,000	6,337,630	
5 雑収入		68,850	
1) 受取利息		26,850	
2) 雑収入		42,000	
経常収入合計	53,804,000	101,907,259	
II 経常支出の部			
1 事業費	50,946,000	67,251,278	
2 直接処遇事業費	1,364,000	3,497,725	
3 就労支援事業費		964,324	紙風船公演活動、メンバー給与等
4 管理費		17,999,864	
(内、法人税等)		2,365,500	
5 固定資産取得支出		409,485	
6 予備費	714,000	0	
1) 予備費	714,000	0	
経常支出合計	53,024,000	90,122,676	
経常収支差額	780,000	11,784,583	
III その他資金収入の部			
1 繰入金収入			
1) 繰入金収入			
2 借入金収入			
1) 長期借入金収入			
その他資金収入合計			
IV その他資金支出の部			
1 借入金返済支出		1,700,000	
1) 長期借入金返済支出		1,700,000	
その他資金支出合計		1,700,000	
当期収支差額	780,000	10,084,583	
前期繰越収支差額	2,000	15,546,206	
次期繰越収支差額	782,000	25,630,789	

賛助会費/NPO 愛実の会の活動に対する費用

伊藤あつ子 見木 靖美 塚本 千寿 山村ミヨコ 越前 武久 山崎 京子 山中 美穂
民安 健二 奥田 紘子 宇田ゆき子 山本 茂一 前山美恵子 佐野 環 栄冠幼稚園

土地建物/将来の NPO 土地建物取得費用

中森 由哉

紙風船夢づくり/紙風船の人形劇製作、公演活動に関する費用

牧野 眞保 一條 敬子 中森 由哉 坂野千名美 奥田 紘子 竹山 徹 大島 英稔
坂倉 洋和 山中 美穂 佐野 環 ぐるーぷびっくり箱

NPO 資金/NPO の運営に関する費用

藤原 茂樹 有村 典子 中森 照子 中森 由哉 吉澤 道子 伊藤 幸雄 川合 史朗
渡部 千枝 高山 慶子

寄付・その他

進籐 広美 中野 潔 川口 尊生 岡崎教会こどもの教会 華陽教会婦人会
愛知教会女性の会

ワイズメンズクラブ国際協会西日本区中部部会様よりご寄付を頂きました。

去る6月13日(土)名古屋YMCAで開催された贈呈式に参加をしました。
紙風船が3月に公演を行った「中部チャリティステージ」の収益金より188,423円
をNPO法人愛実の会へ寄付して頂きました。今後の発展の為に大切に活用させて
頂きます。ありがとうございました。

任意団体「障害者・友だちの会・愛実」受付分

紫陽花の花がとても美しい季節になりました。皆様の所は如何ですか。「愛実の会」を覚えてご支
援下さる方やお祈りの中に覚えて下さる方々に、感謝いたします。

職員一人一人、日々の業務に忙しいですが、メンバーのことを忘れることは有りません。健康であつ
て欲しい。来ることを楽しみにしてもらえそうなここでありたいと、がんばっています。(長村)

「寄付金個人・教会」

青本 光子 大渕 哲也 大渕 真喜子 高橋 範子 横井 忠弘 島 しづ子
神戸 一子 金城学院 金城教会福祉社会委員会 東海教会

「賛助会費個人」

吉谷 尚之(複数回) 高橋 範子 安藤真知子 神戸 一子

「土地・建物基金個人」

岩田太万亀(複数回)

今回の報告は09年3月1日～5月31日までに頂いた分の報告です。

NPO法人愛実の会 定例会報告

おかげさまで、NPO法人愛実の会が生活介護事業(通所サービス)と居宅会議事業(ホームヘルプ)をはじめて3年目に入りました。生活介護を中心とした事業がある程度定着してきた一方で見えてきた課題もあるのが現状です。2008年度は今後の方向性について、どのようなプロセスでやっていくのが良いか試行錯誤の時期でもありました。

愛実の会では、今後の運営を考えていく上で、一部の人(理事、管理者、主任等)だけで考え決めていくのではなく、正会員(総会の議員資格がある方：正会員になるための会費を納めた方)が集まって定例会(諸報告と懇談会)を定期的に積み重ね、それを最終的に総会に反映させ議決して進んでいく方向性をとることになりました。

2009年度が始まってすぐの4月4日(土)17時半～19時半に大地の家(当法人が運営する生活介護事業所のひとつ)にて第1回の定例会を実施いたしました。4月4日現在42名の正会員のうち23名参加でした。

内容としては、まずNPO資金目標金額1000万円について2008年6月より呼びかけを開始し、2008年度末(2009年3月31日)現在で、76口371万6千円集まりました。ご協力頂いた方に感謝の意を表するとともに、目標額の半分以下とのことで、当初は2008年度のみ予定のところ、2009年度も継続し、2009年度終了時には是が非でも1000万円を達成しようとして話し合いました。

このNPO資金は法人運営資金となるものであり、将来どのような方向性を打ち出すにしても、まずは運営の土台をしっかりとさせることが必要で、そのためにもNPO資金確保が2009年度の法人最優先課題である旨を確認しました。

2008年度はNPO資金確保の重要性を認識しつつも、内外へのアピールが正直なところ弱かったのが現実なので、今後呼びかけの強化も課題になると思います。

その他、今後のこととして土地建物取得について、具体的にどういうイメージを持っていけば良いかを協議しました。広さは何坪必要か、交通の便はどうか等具体的な事とともに、現状の使用建物について使いづらさがある事も事実であり、緊急性もあるのではないかとの提案も出されました。ただ、やはりNPO資金という土台が達成されないと次のステップには進めないの、まずはNPO資金確保が第一課題、そして次のステップが土地建物であろうとの話も出ました。実際に土地建物に取り掛かるとなると、NPO資金とは比べ物にならない大きな資金が必要となることで、それこそ少人数で考えたり実行できることではないなあと思っています。

上のことと関連する面もあるのですが、社会福祉法人を目指してはどうかとの意見も出され、これについても今後メリットデメリットを研究し、把握することから始める必要があろうとの話になりました。土地建物取得や税金面のこと、事務作業のこと等幅広く調査する必要性を感じております。もちろん社会福祉法人、NPO法人双方ともメリットデメリットがあるのですが、当法人の今後を考えていく時に、どのメリットを最大限生かし、どのデメリットについては目をつぶるか、といったことも検討する必要があると思います。

今後、この定例会で具体的な法人としての課題を話し合っていきます。当面は2～3ヶ月に1回を目安に開催していこうということになりました。

2009年度に関しましては7.9.11.13月の第4土曜日17時半～19時半の予定です。全員が都合の良い日程は無く日程決定も簡単ではありませんが、2009年度は上記で行っていただきますのでよろしくお願ひいたします。なお、会報をご覧になっている皆様にはこのように会報にて定例会の内容を今後も記載して参りたいと考えています。

今後とも、愛実の会へのご支援をよろしくお願ひ致します。

中森 由哉

ボランティアさん大募集

仲間達と一緒に活動して下さる方、また食事の後片付けや掃除等を手伝っていただける方を随時募集しています。

興味のある方は、ぜひご連絡ください！！

イエローシートキャンペーン実施中

毎月11日「イオン・デー」に開催される『イオン幸せの黄色いシートキャンペーン』に愛実の会も参加しています。

現在ジャスコ名古屋みなと店様、マックスバリュート千種若宮大通店様、イオン大高店様にボックスを設置させていただいています。
ぜひ、ご来店の際はご協力よろしくお願いします。

<連絡先>

特定非営利活動法人愛実の会 事務局 居宅介護事業所 あみ 〒456-0034 熱田区伝馬1-8-1-201 TEL 052-700-1120 FAX 052-700-2383 e-mail npo-aminokai@sf.commufo.jp	大地の家 〒456-0034 熱田区伝馬2丁目28-14 「名古屋働く人の家」内 TEL 052-681-6488 e-mail ami_daichi01@yahoo.co.jp
紙風船 〒457-0845 南区観音町5-109 TEL/FAX 052-694-5458 e-mail ami_kamifuusen@yahoo.co.jp	愛実友だちの家 〒456-0057 熱田区五番町18-29 TEL/FAX 052-651-5953 e-mail ami-tomo@na.commufo.jp

「NPO愛実の会」ご支援のお願い

郵便振替 座番号 00850-6-187490
座名称 特定非営利活動法人 愛実の会

- ◆ 賛助会員 NPO愛実の会の活動に対しての費用
- ◆ 土地建物取得 将来のNPO土地建物取得費用
- ◆ 紙風船夢づくり 紙風船の人形製作費、公演活動に関する費用
- ◆ NPO資金 NPOの運営に関する費用

1□1,000円（NPO資金は1□3,000円）何□でも結構です。
ご支援していただける項目を振込用紙に記載の上ご協力お願いいたします。

※ 年2回（夏号と冬号）に「振込料金加入者負担」の「払込用紙」を同封させていただいています。
ご利用下さい。